

# 学内合意形成と組織体制

大阪大学附属図書館

大阪大学附属図書館情報サービス課専門員  
大西 直樹

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

## 【学内合意形成のレベルと本学図書館の方針】

- a) 全学事業としての認知
- b) 図書館事業としての認知
- c) 情報提供者の理解と合意

平成17年度の活動では

- b) a) c) を基本方針とした

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

- **NIIからCSI事業の提案があるまで機関リポジトリに関する活動はほとんど無い状態**

**まず図書館内で推進方針を定める必要**

- **短期間に情報提供を得るには大学上層部の承認を得た上で、部局や研究者に依頼することが効果的と判断**
- **5年に一度の電算機更新仕様作成などと重なり、実務担当者の余力が少ない状況**

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

## **b) 図書館事業としての認知**

**図書館事務部の意志決定会議で方針などを決定**

**図書館委員会下の電子図書館専門委員会及び図書館委員会に諮る**

**図書館からの機関リポジトリ及びCSI事業の説明に対し、事業推進の承認が得られた**

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

a) 全学事業としての認知

図書館事務部上層部が総長及び関連理事を個別に訪問して事業を説明、概ね了承が得られた

全学委員会である「デジタルコンテンツ委員会」に諮り、事業推進が了承された

さらに教育・情報担当理事が所掌する「教育・情報室」に機関リポジトリへの取り組みについて報告し了承された

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

a) 全学事業としての認知 (続き)

平成17年度後半に大学全体の情報関係組織の見直しが進められ、平成18年2月に全学の情報関連事項を一括して審議する「情報基盤委員会」が発足

この委員会の下に「学術機関リポジトリワーキング」を設置することが認められ、全学レベルで機関リポジトリの検討を行う体制が整備されることとなった

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

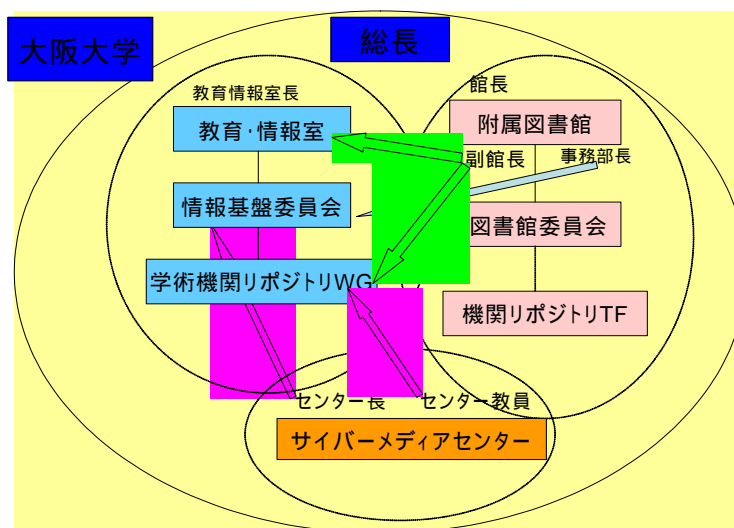
### c) 情報提供者の理解と合意

情報提供者への説明資料、基本となる規程類の検討・準備を進めた

全学合意形成を優先したこと、基盤となる機関リポジトリシステムや業務組織体制が未整備な段階で個別に提供依頼をしにくいことなどから、不特定多数に対する広範な広報は実施せず、個別に情報提供者と交渉を進めた

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

### 【実施体制】



学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

## 【図書館内運用体制】

館内に新たに「大阪大学機関リポジトリ推進タスクフォース」を設置

全体をA.合意形成・運用、B.コンテンツ、C.システム の3つのグループに分け、更にそれぞれを複数のサブグループに分割

全館から若手を中心に14名で構成、複数の事項を並行して実施する体制を整えた

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16

## 【学内連携】

情報提供者としての学内研究者などとの協力のほかに、学内の電算機及びネットワークの中心であるサイバーメディアセンターのセンター長以下複数の教員と密接に連携し、事業計画・機関リポジトリシステムの設計・全学合意形成などに協力を得ている

学内合意形成と組織体制 (大阪大学) 平成17年度CSI委託事業報告交流会 2006.05.16